

# 「インフラ老朽化問題は 解決可能か」

— 問われる氷見市民の知恵と覚悟 —

全国の多くの自治体では、高度経済成長期に公共施設（建物）や道路、橋りょう、上下水道などのインフラが集中的に整備されたため、それらが一斉に老朽化し、更新のための費用が自治体の大きな負担となることが見込まれています。

公民連携や産業・地域の再生を専門とし、公共施設・インフラの更新問題に関する研究の第一人者である東洋大学の根本祐二教授を迎え、全国の公共施設・インフラの現状や、問題解決に向けた方策などについての講演会を開催します。



講師

東洋大学経済学部教授 **根本 祐二 氏**

## 【講師プロフィール】

1954年鹿児島生まれ。78年東京大学経済学部卒業後、日本政策投資銀行入行。同行地域企画部長などを経て、2006年から東洋大学経済学部教授に就任。現在、同大学院経済学研究科公民連携専攻長、同PPP研究センター長を兼務するほか、内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省社会資本整備審議会委員など公職も兼務。

日時

平成 **27**年 **3**月 **21**日（土）  
午前 **10:30** ～ **12:00**

会場

氷見市いきいき元気館 ホール  
（氷見市中央町12-21）

参加費

**無料**